

館報

# かわかみ

2024  
Vol.449  
12-20

K A W A K A M I



## 来し方行く末に思いを巡らせ

また1年が去ろうとしている。能登の地震とともに明けた2024年。雪が少なく給水に支障をきたした春、猛暑すぎて人も野菜も大変だった夏、ようやくひと息ついて秋を味わう暇もなくまた冬に…。世界を見ても、平穏無事のありがたさを楽しみじみと感じる。皆様、どうぞよい年をお迎えください。

### 目次

S I M P L E

- 2-3 川上村総合体育祭
- 4 川上村少年野球連盟 秋季大会
- 5 生涯学習教室 新教室をご紹介します
- 6-7 音楽の架け橋コンサート
- 8-9 教育委員会だより  
ワトソンビル市からのお客様を迎えて
- 10 川上村の素顔
- 11 南佐久郡総合文化展
- 12 ニューフェイス・そうざら源ジイ  
戸籍の窓口・公民館の動き・一喜一憂

# ソフトバレーボール

各チームとも、この日にむけて練習を重ねて挑みました！ 畑仕事とは違った運動量にヘトヘトになりながらも、日常とは違った汗と笑顔で気持ちよく、活気いっぱいの一日を過ごしました！



ナイス！



それっ



来るよ～

御所平Aは、順位決定戦も含めて全試合フルセット！ラリーも続いて見応えのある試合！

**11/2**  
**体育祭**  
トボールなどの屋外競技が中止  
ポッチャのみで開催となりました。  
繰り広げられました！

◆結果◆

- 総合  
1位 原  
2位 居倉  
3位 梓山  
4位 秋山  
5位 御所平  
6位 樋沢  
7位 大深山  
8位 川端下

ソフトバレーボール

- 1位 居倉B  
2位 居倉A  
3位 梓山  
4位 原  
5位 御所平A  
6位 秋山  
7位 大深山  
8位 御所平B  
9位 樋沢



フロック！

アタック！



ポッチャから応援に駆けつけた皆さん。



交替要員も揃えて上手く戦略を立てた原チーム。応援にも力が入ります！

本日のMVP



優勝  
&  
準優勝



周りを黙らせる白熱ぶりの居倉両チーム。  
1のポーズは優勝の居倉B。  
2のポーズは準優勝の居倉A。

ヤッター！



中島 貴志さん



岡部 駿さん



山中 篤さん

いつもありがとうございます！  
スポーツ推進委員の皆さん  
総合体育祭をはじめ、少年野球の大会や第二小学校のふるさと源流教室、少年少女球技大会など、多くのイベントで審判やインストラクターとして支えてくださる皆さん。参加者が競技に集中して楽しめるのは、皆さんの支えがあってこそ。本当にありがとうございます！

# ポッチャ

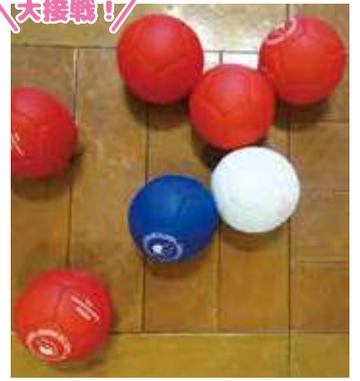
小学生によるポッチャは、集落ごとに2チームずつエントリー。2つのコートに分かれてそれぞれ対抗戦を行い、勝ち抜いたチームによる決勝戦が行われました。決勝戦は原A(女子)対原B(男子)！6エンド終了時点で同点だったため、タイブレークによる決戦へ。女子が優勝しました。



今は赤が優勢

ジャックボール

的玉の「ジャックボール」に近い方のボールが得点に。この状況は赤が優勢。青チームはより近くにボールを寄せるか、赤や白のボールをはじいて青ボールを的球に近づけるか、技術だけでなく頭脳の戦いにもなる。



白にピッタリとついた青、赤はわずかに離れている。が、赤が近くにたくさんあるため、白と青を離せば赤の大量得点のチャンスが広がる。

## ジャックボール賞2回の技！



## ジャックボール賞



白玉にピッタリとつけるともらえる。

## ヨッシャー！



## 秋山Bは3位



## ねらって...



## あのへんに...



## こちらもジャックボール賞



## 原どうしの決勝戦



一投一投から目が離せない、大接戦！作戦と技とがぶつかり合っていました。

# 川上村総合

あいにくの雨に見舞われ、ソフトとなり、ソフトバレーボールとが、その分、熱のある戦いが

## ポッチャ

- 1位 原A
- 2位 原B
- 3位 秋山B
- 4位 秋山A
- 5位 居倉A
- 6位 梓山B
- 7位 樋沢A
- 8位 大深山B
- 9位 御所平A
- 10位 樋沢B
- 11位 御所平B
- 12位 居倉B
- 13位 梓山A
- 14位 川端下B
- 15位 大深山A
- 16位 川端下A

ジャックボール賞  
合計 8名  
(2回受賞した人が1名)



新海 厚さん



渡邊 紀久さん



高見澤 雅彦さん



吉澤 郷志さん

小原 利文さん



# 川上村少年野球連盟 秋季大会



春季大会から約半年、低学年の児童もすっかり野球に慣れ、高学年は春以上に技術を高めて白熱した試合が展開されました。子どもたちの成長ぶりを感じられた1日でした。



ナイス  
フォロー!



優勝  
樋沢・御所平



優勝 樋沢・御所平チーム

準優勝 居倉チーム

3位 AKAチーム(秋山・川端下・梓山)

4位 大深山・原チーム



準優勝  
居倉



3位  
AKA  
チーム



全地区の六年生集合! 6年間競い合ったライバルたち。素敵な思い出となりました。

# 新教室をご紹介

今年も生涯学習教室のシーズンが始まりました！ 長いようであつという間の農閑期を、身体や手を動かして、共に学んで、元気に楽しく過ごしましょう！

## 親子で3B体操



講師  
菊池 典子 先生  
佐藤 美穂 先生

用具を使って遊びの要素を取り入れ、音楽に合わせて行う親子体操です。身体能力の良し悪しが影響する体操ではありません。気軽に楽しく、声をかけ合いながら身体を動かすうちに、自然と絆が深まる効果も得られます。



最年少は4ヶ月！

## 知育・体育

対象：年中～小1



講師  
由井 千恵美 先生

バランス感覚や逆さ感覚などの身体感覚を身につけるのは、6歳までが好機。遊びと運動を通して大事な動きを体験し、好きになれるようになっていきます。初日は体操やゲーム要素のある鬼ごっこなどで楽しく元気に動き、今後はマット、鉄棒、なわとびなどの基礎運動も予定。達成感を得た子どもは運動以外にも自信が付き、友達と協力しあえる気持ちのゆとりができるでしょう。



いいよ～

楽しく！

## ハンドメイド アクセサリ



講師  
由井 恵美 さん  
林 紗央里 さん

自分のイメージを形にして、オリジナルのアクセサリを作ります。初回は工具の使い方を学びながら、講師が用意したパーツで各自がアクセサリを完成させました。最終的には、工具に慣れ、イメージ通りのアクセサリを作れること、修理ができるようになることを目指しています。



ヘアゴムは取り組みやすいアイテム。



キラキラのパーツを眺めるだけで、テンションアップ！

11/16

# コンサート

文化センター自主事業として、ピアノ・クラヴィコードと尺八とによるデュオコンサートが開かれました。プレトークから演奏者と観客が交流し、楽しいひとときとなりました。(写真/道山 勝教)

## からまつ広場でのプレトーク



## ピアノ・クラヴィコード



### 佐伯 恵美 さん

オランダ国立ティルブルグ音楽院、同エンスヘデ音楽院パイプオルガン科卒業。カリフォルニア州カーメルウェイフェア教会音楽監督・レジデンスオルガニスト。

## 尺八



### ブルース・ヒューブナー さん

カリフォルニア出身、少年時代から山で楽器を吹くのが好きだったが、日本に来て尺八に出会い、その虜に。東京藝術大学で学び、現在は尺八奏者として全米ツアーも行う。

## 尺八の神秘に触れる

少しジャズっぽくアレンジした「枯葉」と、楽器の音色がとても合って、観客のみなさんも聞き入っていました。



「ちょっと指を入れてみてください」と言われ、指を差し出す観客の方。指を入れると音が変わります。



和と洋、新と旧、東と西、多くをつなぐ架け橋を  
このコンサートの演奏者は、川上村と長くお付き合い合っていたという鍵盤楽器奏者の佐伯恵美さんで、ゲストはカリフォルニア生まれの尺八奏者ブルース・ヒューブナーさん。和楽器と洋楽器、古い曲と新しい曲、川上とカリフォルニア、さまざまなもの・場所を音楽でつなぐ架け橋をテーマに、プログラムを考えたそうです。  
からまつ広場で行われたプレトークから、たくさんのお客様が集まりました。ピアノはスタインウェイのアンティーク。アドリブで演奏した「枯葉」は、そのピアノと尺八の音色がとてもよく合うと感じました。

## 佐伯恵美さんとリカさんとパイプオルガンと



佐伯先生ご夫妻と高見澤リカさん。リカさんは25年前くらいに佐伯先生に師事してクラヴィコードを習っていた。2018年に川上村の楽器を見にいらしたことがきっかけで通ってくださいるように。

このパイプオルガンは、ドイツの教会にあったもの。はるばる旅をしてこの音楽堂に設置された。



佐伯恵美さんは、川上村のパイプオルガンにとって「命の恩人」ともいうべき方です。2008年に設置されて以降、あまり演奏される機会もなく中学校の音楽堂に眠っていました。高見澤リカさんを通じてそのパイプオルガンを知った佐伯さんが、様子を見にきてくださったのです。「川上村を初めて訪れたとき、このパイプオルガンはあまり弾かれていないかわいそうな状態でした」と佐伯さん。リカさんをはじめ、村でパイプオルガンを弾いてみたい人、興味のある人が少しずつ集まってきて、佐伯さんが手弁当で月一回指導やコンサートをしてくださるようにな

# 音楽の架け橋



## 聴いた方の感想

コンサートの広告を見た瞬間、古楽器のクラヴィコードと外国人による尺八に興味がありました。当日はワトソンビルの友人と共に聞き、やさしい音色と響きに感動を分かちました。

## うぐいすホールに響く美しい音色



佐伯さんのクラヴィコード。多くの人に愛用されたドイツ人楽器製作者Hubert (1714-1793)のクラヴィコードをカリソリヒターが復元したものです。美しい装飾が施され、工芸品のよう。

## プログラム

- 鹿の遠音 琴古流尺八本曲
- さくらさくら 日本古謡
- 春の海 宮城道雄
- 夢・ゴリウォーグのケークウォーク  
クロード・ドビュッシー
- アベマリア パッサ/グノー
- グリーンスリーブス  
イギリス古謡
- ロンドンデリーの歌  
アイルランド民謡
- フォスターメドレー  
「ケンタッキーのわが家」  
「金髪のジェニー」  
「夢路より」「おおスザンナ」
- 風の通り道「となりのトトロ」より  
久石 譲
- 赤とんぼ/アメージンググレース  
日本童謡 アメリカ讃美歌

## 日本古来の曲からクラシック、フォスターメドレーにトトロまで

うぐいすホールでのコンサートは、日本古来の楽曲から始まり、クラシックからポップスまで多様な音楽を堪能できました。ピアノだけでなく、クラヴィコードという鍵盤楽器の中で最も古い型のものも演奏します。「さくらさくら」では、お琴のように弦を直接弾く場面もあり、驚きました。シェークスピア時代の「グリーンスリーブス」の曲には、クラヴィコードの響きがよく合っており、時空を旅したようでした。

最後は「赤とんぼ/アメージンググレース」。「両国の代表的な曲」を続けて演奏し、今後の日米交流への願いを込めました」と佐伯さん。アンコールの演奏に合わせて、皆で「ふるさと」を歌い、素晴らしい時間となりました。

り、オルガンは息を吹き返しました。オルガンを守っていく活動をする「ミュージズの会」も結成され、もつとその輪を広げようとしていたときコロナ禍がやってきました。



## この「宝物」をもっと知ってほしいから

コロナ禍でもリカさんは一人で音楽堂を訪れ、パイプオルガンの状態を保つために弾いて風を回す活動をしていました。佐伯さんは「川上村に素晴らしいパイプオルガンやピアノがあり、誰でも演奏できるのは本当にすごいことです。イタリアの小さな村に、世界中からパイプオルガンを弾きに人々が訪れるところがあります。川上村も、このピアノやオルガンを村の魅力としてもっと広め、生かすことができるのではないのでしょうか」とおっしゃいます。

「先生はいつもオルガンと川上村のことを大切に思ってくださいます。わたしはそのことも皆さんに知ってほしいと思うのです」とリカさん。このコンサートを機に、たくさんの方に知っていただけたらいいですね。

詳しくは川上村You Tubeチャンネルで!

「響け! パイプオルガンの音色」<https://www.youtube.com/watch?v=hN5UQ85Pez8>

## ワトソンビル市からのお客様を迎えて

11月13日から18日にかけて、姉妹都市であるカリフォルニア州ワトソンビル市からマエダ夫妻が来村しました。



ドロシー      ロバート      マエダ  
**Dorothy & Robert Mayeda**

ロブさんは日系3世。長年に渡りワトソンビルの姉妹都市委員会の運営に携わってきた。毎年のようにホストファミリーとして引率者を受け入れ、役場職員や教員の多くがマエダ家のお世話になった。  
(写真/道山 勝教)



安曇野で暮らし、山岳カメラマンで高山蝶や雪形の研究をした田淵行男氏はロブさんにとって大叔父にあたる人。  
『安曇野のナチュラリスト 田淵行男』近藤信行(山と溪谷社)

ワトソンビル市と川上村の  
姉妹都市交流の歩み

1986年

姉妹都市提携

カリフォルニア州で日系人コミュニティがあり、当時はレタスの産地でもあったワトソンビル市と姉妹都市提携をする。

1994年

中学生交換プログラム開始

ワトソンビル市のアン・ソルド市長と藤原忠彦前村長により始まったプログラム。30年間で約300人以上生徒のみの数字がホームステイに行った。

2020年

コロナ禍により休止

コロナ以降は、オンラインによる交流が行われている。

1999年

保護者として来村



ドロシーさんとマエダ家の長女が来村。梓山の関茂さん宅に滞在した。

2013年

友情のキルトを川上へ



キルト作りが好きなドロシーさん、友情の証として、キルトを贈ってくれた。数学が得意なドロシーさんならではの幾何学模様と、カリフォルニアの海と千曲川の水を表す青が特徴的。

2014年

引率者として来村



子どもたちは中学生宅に、二人は川上朗さん宅にホームステイ。休日には奈良井宿に出かけた。





中学校で交流

中学2年生の授業で生徒たちからの質問を受ける二人。「好きな食べ物は？」のほかに、「馴れ初めは？」など、おませな質問も。



ワトソンビル市にあるローリングヒル中学校について紹介するロブさんと通訳する由井恵理先生。



ランチルームにやってきた中3生と話す。わからないところは、恵理先生に助け舟を出してもらって。

11/15

村長にご挨拶



ワトソンビル市のヴァネッサ・キロス・カーター市長からのお土産や、ワトソンビルの地図を渡し、歓談。

第二小学校で餅つきを見学



5年生の収穫祭が行われていた第一小学校に立ち寄り、餅つきを見学。ワトソンビル市で日系人コミュニティの文化伝承をする「こころの学校」でも正月には餅をつくそう。

11/16

音楽の架け橋  
コンサートへ



コンサート後のパーティー。笑顔で語らうロブさん。(2枚の写真/道山 勝教)



コンサートの冒頭で、ワトソンビル市と川上村の交流についてこれまでの友情に感謝するスピーチを行った。

「人生を変える体験」に感謝  
〜ロブさんのスピーチより〜

ロブさんは小学校時代の校長であったアン・ソルド氏から交換プログラムを引き継ぎ、フィリス・ナガミネ氏とともに市内の5つの学校と協力して続けてきた。

「今晚わたしは、長年にわたる中学生交換プログラムへの深い感謝をお伝えするために参りました。川上村役場が、川上村とワトソンビル市両方の生徒たちの活動にかかる多くの費用を負担してくださったことに、心より感謝申し上げます。このプログラムは、我々の生徒たちに素晴らしい機会を提供してくれました。生徒の多くが「人生を変える体験だった」と語っています。生徒達が異なる文化に触れる機会を与えてくださって、ありがとうございます。参加した生徒達は皆、ホストファミリーの皆様から受けた親切と温かいおもてなしに感銘を受け、感謝の気持ちを抱き続けています。皆様が我々の生徒たちに対して心を開き、温かく迎え入れてくださったこと、そしてこの長きにわたる素晴らしいパートナーシップを通じて、多くの人々の人生を豊かにしてくださったことに、深く感謝いたします。ありがとうございます。」

# 川上村の素顔

第52回

昔ながらの食を受け継いで



篠原 千代子 さん  
(大深山)

(プロフィール)  
栃木県出身。22歳で大深山に嫁ぎ、  
農業者となる。マルシェかわかみのほ  
りこしまんじゅうの担い手でもある。  
和裁も嗜み、ハンコも手作り。



味噌を炊く。大釜に大豆 1.5 斗と水をたっ  
ぷり入れて点火。



大豆も 1 種類ではなくさまざま種類を混ぜ  
て炊くのがおもしろいという。

(編集部) 10月27日の信濃毎日新聞に「葬儀料理」  
について取材された記事が掲載されました。

(千代子さん) 年配の方たちが「また食べたい  
なあー」と口を揃える「お煮かけ」。多寄りの機会が  
減った今となっては、幻の料理になってしまいました  
たね。若い人から「どんな料理?」「レシピは?」と  
聞かれますが、地区によって具材が違ったりするし、  
大深山の事情しか知らないわたしが自己流で伝えて  
いいのか戸惑います。そのたびに、先輩方から受け  
継ぐことの大切さを感じるんです。

たとえば以前、お煮かけを作ったとき、思い出し  
ながら作り懐かしく食べたものの、何か違う気が。  
別の機会にある方にその話をしたところ、出汁の取  
り方の違いを指摘され、アドバイス通りにしたら、

親しみのある「あの味」に近づき、詳細に受け継ぐ  
大切さを痛感しました。  
もう途絶えてしまったものもたくさんあると思い  
ます。お煮かけの具材で大事な「地菜」。小松菜でも  
野沢菜でもない独特な品種で、お煮かけには一度干  
した物を使いました。「かけ菜」とも呼ばれていまし  
たね。昔は栽培する人がいて多寄りがあると譲って  
もらったけれど、種を人に継承していく文化も廃れ  
わたしの身近な所ではおそらく途絶えたように思い  
ます。

(編集部) 千代子さんは、農家として忙しい日々を  
送る中でも、味噌、醤油をはじめ、梅干し、小豆麹、  
酵素ドリンクなど、発酵食・保存食・養生食を大切  
に作ってきました。



農協女性部の醤油搾り。昔ながら  
の搾り道具を使っている。



風邪気味の編集部  
員に出してくれた  
養生食。梅と生姜、  
レモンをハチミツ  
とシナモンなどの  
スパイスたっぷりで  
漬けたもの。滋味  
あふれる一品。

(千代子さん) 今はネットで何でも手に入る便利な  
時代だけれど、わたしは「自分で作ることを手放  
したくないんです。先人の知恵はまさに、生活の中  
の何気ない場面で伝承され、繰り返されてきたこと  
ばかり。手間はかかるけれど、身についたことは自  
分の身体と生活を支える軸になると感じています。  
身体作りに大切な調味料や保存食を楽しんで作り続  
けていきたいと思っています。

※醤油作りに興味のある方は JA 長野八ヶ岳女性部にご連絡ください。組合員でなくても参加できます。

# 南佐久郡総合文化展

11/9  
—  
11/10

佐久穂町の茂来館で開催された南佐久郡総合文化展。川上村からは、絵画、書道、押し花絵、立体などの作品が出品されました。たくさんの方に参加してほしいです。



祝

南佐久郡公民館  
運営協議会長賞  
書道の部受賞

作品名  
「金文」

出品者

美嶺(田中弓美子さん)

受賞の言葉

この作品に取りかかったのは3月くらいで、半年ほどかけて書き上げました。母の看病などもあったので、郡展に出品するつもりはなかったのですが、書の先生が出てくださり、受賞してからそのことを知りました。

金文は、中国の殷の時代の文字で、官職への就任など祝い事があったときに青銅器に記された文言を、書道のお手本としているものです。線の太さ、細さ、墨の濃淡、余白、一文字一文字気をつけることがたくさんあります。

慌ただしい日々でしたが、これからも一日一度は筆を持つことを心がけ、励んでいきたいと思っています。

秀作



作品名「おすすめ げんこつハンバーグ  
オニオンソース」

出品者 林 一幸

秀作



作品名「土筆のすずめ一家」

出品者 和久 房子

焼ける音が聞こえそう!

秀作



作品名「辰」

出品者 川上村社会福祉協議会  
宅老所 だんらん

利用者さんたちの合作。  
素材の立体感と、龍のユーモラスな表情がいいですね!

## 動物バトクリレー

高見澤 敬二さん (御所平)

去年、子どもと成長してくれた先代犬を見送り、里親のご縁で家族になりました。右からモカ(3歳)みんなを守ってくれる頼りになるお姉ちゃんです。福(1歳)優しく、おっちょこちょい。みんなを笑顔にしてくれます。むぎ(3ヶ月)お兄ちゃんとプロレスをたくましく成長中です。

それぞれに個性があって、犬の縦社会を見ることができると多頭飼いの楽しいところです。





川上村の赤ちゃん **New Face ニュフェイス** すくすく元気いっぱい赤ちゃんをご紹介!!



寝返りがえり特訓中!

はるき  
**川前 遥樹 ちゃん**

誕生日  
**06 / 11**

原 (保護者: 大樹・徳子)

親御さんからひと言  
大地にしっかり根を張る大樹(たいじゅ)のように、周りの人を大らかな心で包んだり、安らぎを与えたりする存在になってほしいと願い名付けました。遥樹とともに、父ちゃん母ちゃんも成長できるようにがんばっています!

今年もやります!

**お知らせ**

1/18



毎年恒例となった餅つき&遊びの会。今年もやります。つみきキャラバンやおさがり会、ワークショップもあって、楽しさせてんご盛り! お楽しみに!

### 戸籍の窓口

10月1日〜10月31日受付

お誕生おめでとうございます

- 渡邊 律月 ひかり 浩二
- 遠藤 響 ひびき 聖矢
- 井出 愛乃 あいの 省太郎
- 渡邊 琉心 りゅうしん 公道
- 由井 葵 あおい 篤樹

### お悔やみ申し上げます

- 今枝 都津子 86歳 御所平
- 佐原 一二人 85歳 川端下
- 田中 千枝子 93歳 御所平
- 新海 英己 88歳 御所平

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

### 公民館の動き

- 11月2日 川上村総合体育祭 館報編集委員会
- 11月6日 広報・館報 編集会議
- 11月9〜10日 南佐久郡総合文化展

### 一喜一憂

日本の文化には茶道、華道、書道、剣道、柔道、弓道…のように「道」がつく芸道がたくさんあります。

これは茶や花や道具を用いてそのプロセスを学び日々の稽古を通して精神的、肉体的に鍛えることを目的としています。

書道では「筆、墨、硯、紙」が欠かせません。「文房四寶」といって古来より書齋において大切にされてきた道具です。現代は墨汁という便利なものが簡単に手に入ります。しかし、大作や仮名の作品を書くときには必ず墨を磨ります。真の墨色を引き出すためです。墨の心地よい香りや微かな磨り音で心を落ち着かせることができます。墨色や筆、紙のことを考えながら構想を練ります。一回落とした水滴と墨が混ざり合って濃度がついていく、そして根気よく続けると粘りが出てきて墨のよりよい香りが立ちます。これを繰り返して運筆しながら好みの色を作ります。まさしく至福の贅沢な時間です。

書道のほんの一部に触れてみましたが、日々の生活の中で、こんな時間があってもよいのでは?と思います。

「いいかあ、どんな道具でもまていに(丁寧)に扱えよ。でーじ(大事)にするだぞ」父の言葉を思い出します。(編集委員T・Y)

### 【村 勢】

総面積	209.61km <sup>2</sup>	総人口	3,411人
世帯数	1,172世帯	男	1,768人
		女	1,643人

(10月31日現在)